



南郷の風

令和元年度 第7号

福島県地域学校活性化推進構想

福島県教育委員会では、2019年2月に「福島県地域学校活性化推進構想」を策定し、地域が学校や子ども達を支援するという従来の一方向の関係だけではなく、学校も地域に貢献していくことで、地域と学校が強固なパートナーシップを構築し、新しい学習指導要領のポイントとなる社会に開かれた教育課程を実施しながら、地域づくりと一体となった社会総がかりによる教育の実現を目指しています。この構想が目指すのは次の4点です。

- 地域の大人と子どもが交流する場を意図的に設け、子どもの社会性や郷土愛などを育むとともに、大人も子どもから学び、互いに育ち合うことのできる体制をつくる。
- 体験活動などで地域が学校を支援し、ボランティア活動などで学校も地域に貢献する、双方向で連携・協働する活動を通して、学校教育の充実と併せて、学校を核とした地域の活性化を推進する。
- 教科書だけでなく、ふるさと学習や地域を学びのフィールドとした探求活動など、地域と連携した教科横断的な学習を取り入れながら、社会に開かれた教育課程を編成する。
- 障がいのあるなしに関わらず、地域で安心して子ども達が学び、保護者が子どもを育てることができる環境の実現を図る。

本校の教育活動を振り返ると、従来より学校と地域が一体となった取組が当たり前のように行われており、保護者をはじめ地域の皆様のご支援に改めて感謝申し上げます。

今後も、地域学校活性化推進構想の目指すところを意識し、各活動のねらいを明確にしなが、取り組んで参ります。今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

本校の地域連携担当教職員です。よろしくお願いいたします。

地域と学校の協働活動が効率的に展開できるよう、学校側の窓口となる「地域連携担当教職員」が、今年度から新たにすべての公立学校において任命されました。

本校は、教務主任の武澤裕二教諭が担当し、学校と地域の連絡・調整や情報の収集発信等を行って参ります。

どうぞよろしくお願いいたします。



はじめに
2019年2月 福島県教育委員会

近年、少子化や高齢化、経済活性化などが進行し、子どもたちを取り巻く人間関係は変化しており、福島県では震災後大震災及び原子力発電所事故の影響が、これらに拍車をかける状況にあります。このような中、子どもたちにコミュニケーション能力や自己肯定感を育みながら、社会規範等を身につけさせるためには、教員以外の人との接点を積極的に増やすことが不可欠です。

また、地域においては、子どもや学校は貴重な存在であり、地域行事や社会活動に積極的に参加してほしいというニーズや、実態に即した教育課程を実施するとともに、子どもたちのために地域で役に立ちたいという思いも聞こえてきます。このため、学校教育の充実と地域の活性化を一体で行うことにより、相乗効果が生まれてくると考えます。

そこで本構想は、地域が学校や子どもたちを支援するという従来の一方向の関係だけではなく、学校も地域に貢献していくことで、地域と学校が強固なパートナーシップを構築し、新しい学習指導要領のポイントとなる社会に開かれた教育課程を実施しながら、地域づくりと一体となった社会総がかりによる教育の実現を目標としています。

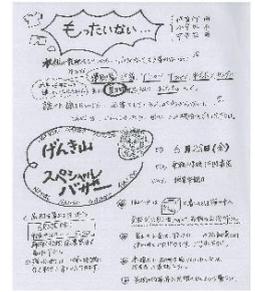
福島県地域学校活性化推進構想が目指すもの

- 地域の大人と子どもが交流する場を意図的に設け、子どもの社会性や郷土愛などを育むとともに、大人も子どもから学び、互いに育ち合うことのできる体制を構築します。
- 体験活動などで地域が学校を支援し、ボランティア活動などで学校も地域に貢献する、双方向で連携・協働する活動を通して、学校教育の充実と併せて、学校を核とした地域の活性化を推進します。
- 教科書だけでなく、ふるさと学習や地域を学びのフィールドとした探求活動など、地域と連携した教科横断的な学習を取り入れながら、社会に開かれた教育課程を編成します。
- 障がいのあるなしに関わらず、地域で安心して子どもたちが学び、保護者が子どもを育てることができる環境の実現を図ります。

構想を進めるための4本柱(12の方策)

- 1 地域に根ざした学校運営**
 - ① 学校評議員制度の活用
 - ② コミュニティワーカーの導入促進
 - ③ 学校を核とした地域との連携
- 2 地域と学校の協働活動**
 - ① 地域学校協働活動の推進
 - ② 地域コーディネーターの積極的活用
 - ③ 地域連携担当教職員の任命
- 3 地域の課題解決に向けた創造的仮想的学習**
 - ① 地域課題解決活動の推進
 - ② 地域との連携による県立高等学校の特色化
 - ③ 福島県地域学校活性化本部によるマッチング
- 4 地域で共に学び、共に生きる特別支援教育**
 - ① インクルーシブ教育システムの推進
 - ② 地域支援センターによる関係者の協働
 - ③ 地域との連携による自立と社会参画の促進

多くの方々にご協力いただき、充実した活動ができました！

	地域の方々の協力を生かした活動	地域の資源を生かした活動	地域へ参画する活動	学校・PTAの力を生かす活動
4月・5月	5月 学級園苗植え (全学年) ・馬場宗一様 (畑借用) ・酒井三郎様 (耕運) 	・避難の家協力 21軒 6/7 見学旅行(1・2年) ・田島駅 ・びわのかげ公園 	4/10 避難の家訪問  5/30 文化財周辺の清掃活動(4～6年クラブ活動) 	4/20 資源回収(PTA)  5/10 引き渡し訓練(PTA) 
	6/4 きのご植菌体験 (5・6年) ・馬場一久様 	6/10 花泉酒造見学(4年)  6/14 生活科町探検(2年) 	6/20・21 日本橋ふくしま館でのふるさとのPR活動(6年修学旅行) ・日本橋ふくしま館 MIDETTE (ミデッテ) 様 	6/28 救急救命講習会 (PTA) 
6月・7月	6/10 絵本の読み聞かせ (1・2年) ・五十嵐政次様 	6/14 藍染め体験・駒止湿原散策(3年) 	・道の駅さらら289様 ・南郷総合支所様 ・ヤマザキショップ儀六屋様 ・ハローショップこはま様 ・星商店会津山口給油所様 ・旅館山口屋様 ・会津乗合自動車山口営業所様 ・月見屋菓子店様 ・角田牧場様 ・南会津町図書館様 6/14 尾瀬散策(4年) 	6/28 放課後子ども教室げんき山バザーへの協力(場所の提供とPTAの協力) 
	7月 七夕の竹の提供 ・五十嵐信正様 	7/3 トマトづくり見学(3年) ・星 哲康様 	6/21 大橋公園散策(1年) 	6/21 西部地区交流(たんぼぼ学級) ・駒止湿原 駒止湿原案内の会 柏木なつ子様 瀬谷加代子様 ・奥会津博物館様 ・アルザ尾瀬の郷 